

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道375号 作木拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県三次市作木町香淀 至：広島県三次市作木町伊賀和志			延長	13.0km
事業概要	一般国道375号は、広島県呉市から島根県大田市に至る延長約175kmの幹線道路である。 作木拡幅は、交通隘路の解消及び交通の安全確保を目的とした、延長13.0kmの2車線道路である。				
S49年度事業化	都市計画決定なし	S51年度用地着手	S51年度工事着手		
全体事業費	約175億円	事業進捗率	87%	供用済延長	11.5km
計画交通量	700~2,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.4 (残事業) 3.4	総費用：(残事業)/(事業全体) 22/290億円 (事業費：20/267億円) (維持管理費：2.0/23億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 75/402億円 (走行時間短縮便益：68/392億円) (走行費用減少便益：5.8/9.3億円) (交通事故減少便益：1.3/0.71億円)	基準年： 平成20年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.8(交通量+10%) B/C=3.1(交通量-10%) 事業量変動：B/C=3.2(事業費+10%) B/C=3.8(事業費-10%)				
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（三次市作木町から三次市中心部へのアクセス向上） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間の解消）				他4項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	三次市をはじめとする関係3市2町で構成される国道375号（大田・三次間）改良促進期成同盟会において、早期整備の要望をされている。また、三次市の合併建設計画においても主要事業に位置づけられており、早期整備が望まれている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	周辺に、江の川カヌー公園さくぎ、川の駅常清などの観光施設が整備された。平成18年8月には、島根県境に作木大和道路が供用。平成14年4月1日には、旧作木村が三次市と合併した。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得は完了しており、全体延長13kmのうち11.5kmが供用済みである。現在は起点側にある門田トンネルを施工中である。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成22年度に事業が完了する予定。				
施設の構造や工法の変更等	トンネル工事により発生した残土を、他工事に流用し、コスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。